

学校支援活動事業訪問

桑折町訪問【桑折町立半田醸芳小学校】

訪問日：平成30年7月12日（木）9：00～12：00

場 所：半田醸芳小学校及び半田山周辺

内 容：6年「半田の歴史を訪ねよう」での学習支援ボランティア

桑折町在住の郷土史研究家、猪俣好巳氏がボランティアの講師になり、半田銀山の歴史を学ぶためのフィールドワークを行った。子どもたちは、半田銀山史跡公園、亀張水路、中舗坑道、半田沼の水神岬などを猪俣氏とともに巡り、半田銀山の開拓の歴史や明治水害の様子などを肌で実感していた。また、現在も残っている坑道跡や水路、災害によって形成された山の地形などを自分の目で見て、町の発展に寄与した当時の人々の思いや願いを感じ取っていた。



【教師の思い】

子どもたちに住んでいる地域への理解を深めてほしいと思い、町の歴史に詳しいボランティアの方の協力を得た。自分自身も初めて知ることが多く、大変勉強になった。今回学んだことは、子どもたちの心の中のどこかに残っていくと思う。いつの日か、今回の体験で得たものを何らかの形で地域に返していければよいと思っている。

【ボランティアの方の思い】

自分たちの地域に半田銀山があったことや大規模な水害が起きたことなどを伝えていかなければならない。また、昔の人の熱意のもとに自分たちが生活していることを忘れてはならない。自分の町の歴史を知ることが、町を愛することにつながる。町を愛する心が町の発展へと結びついていく。今回学んだことを次の時代につないでほしい。

【体験した児童の思い】

半田銀山について、初めて分かったことがたくさんあった。桑折町ってすごいと思った。フィールドワークで学習したことを、学習発表会の劇にしたい。家族や下級生、町の人たちみんなに見てもらいたいと思う。

桑折町の学校支援活動が、子どもたちの学びをより深いものにしており、その子どもたちの深い学びが地域へ返されるものになってきている。今回のような、学校と地域が連携し、町の歴史や文化を感じ取る体験学習は、子どもたちが、より良い町づくりに寄与する人材として成長していく糧になっていくであろうと感じた。

